楽して国語の成績をあげる方法

国語科　島村　潤一郎

どうして日本人はこんなに長時間労働が好きなのだろうかと首を傾げることが多い。さらに理解できないことがある。結果が出なかった時,「頑張ったから仕方がない」というような言い訳が出てくる点だ。「頑張る・頑張らない」と「結果が出る・出ない」を交差させると四つの象限ができあがる。一番いい組み合わせは「頑張ってない・結果が出る」で，最低の組み合わせは「頑張る・結果が出ない」である。いかに効率よく生徒に国語の力をつけさせるかという試みをまとめたものが本稿である。

キーワード：国語　朝読書　読書指導　働き方改革　生産性革命　人口減少社会　大学入試　ペアワーク　陰山メソッド

B；トラックで言うと第４コーナーをまわって最後の直線コースが見えてきたかなという年齢なんで，国語科教師歴30周年記念ということもあり，その集大成的な原稿を書いてみることにしました。これが一番大きな理由なんですが,他にも理由はあります。二つめは金沢大学が紀要の原稿をネット上にアップしてくれていて，毎月どれだけの人が閲覧したか，ダウンロードしたか報告してくれるんですが，それを見ると「年間読書量調査から見えてきたこと」という原稿が，私が国語教師として書いた原稿として最もよく読まれているんですね。読んでくれてる人がこれだけいるのであれば，もっと書こうという気持ちにやっぱりまりますよね。

A；小説を書いて賞をとったり，月刊誌にコラムの連載なんかもやっているようですが……。

B；物書き的なことをやるようになって，感じたことをまず述べておきます。私が敬愛する漫画家の科白に絡めて言いましょう。「この島村潤一郎が金やチヤホヤされるために原稿を書いていると思っていたのかァーッ！僕は読んでもらうために原稿を書いている。読んでもらう，ただそれだけのためだ。ただ一つの単純な理由だが，それ以外のことはどうでもいいのだ！」

A；やれやれだぜ。またしてもジョジョネタですね。

B；けどこれは本当にそうなんですよ。掲載誌は「金澤」という雑誌なんですが，ネット書店の売り上げランキングなんかで見てみると，週刊朝日や週刊新潮，文藝春秋，サンデー毎日，フライデーなどと同じカテゴリーで毎月100位内に入るんですよ。100位内なんてどうっていうことないと思うかもしれませんが，どれだけ世の中雑誌が多いことか。そうした中で最高４位までいったことがあります。とにかく言いたいのはこれですね。読んでもらえるのが一番うれしい。

A；で，その一番読まれている「年間読書量から見えてきたこと」の中身なんですが……。

B；その冒頭の部分を引用しましょう。

手段は目的に従属する。目的を達成するために何らかの手段が講じられる。であるならば，何らかの手段が講じられた場合，それが目的を達成するためにどれだけの効力を持ったのか，必ず検証されねばなりません。有効性を認められた場合,それは継続,もしくは拡充され,有効性が認められなかった場合,

それは縮小，もしくは廃止されねばなりません。**こうしたフィードバックがなされない場合，思いつきで始められた仕事や慣習が，有効性を検証されないまま惰性的に続き，仕事のための仕事，書類のための書類，会議のための会議に振り回され，構成員がどんどん消耗していくことになり，やがては組織そのものが疲弊していくという本末転倒の事態がひきおこされてしまいます。**2005年，終戦から60年ということで，あの戦争に関する書物が何冊か話題になり，私もその何冊かを読みましたが，あの戦争の敗因として，多くの論者が異口同音に，今述べたような「手段の自己目的化」と「合理的思考の欠如」を挙げていたことが非常に印象的でした。日本型組織の病弊はなかなか変わらないものらしく，去年の夏，日本のメガバンクに就職しながら，その後，外資系に転職した友人と飲みましたが，彼我の組織の違いとして，「コストパフォーマンス的な考え方の有無」を挙げていたのも，また印象的でした。

私はここ何年か読書の重要性をいろんな場で説いてきました。であるならば，読書の奨励がコストパフォーマンス的に理に適っているということを実証する責務を負うということになるはずです。

59回生の現代文を私は３年間担当しましたが，ちょっとした賭けに出てみました。ある意味でこれは冒険でした。問題集を長期休暇中の宿題に全くしなかったということです。３年間で買わせた問題集は２冊で，あとは生徒の自由に任せました。その代わり，特に力点を置いた点があります。それが読書指導の充実です。問題集などの課題は，読書の奨励によっても代替できるのではないかと考えたのです。これには訳があります。今から２年前のこの研修会で，私は「年間読書量と大学合格力」という資料を出しました。文系上位でも本をあまり読んでいない生徒は東大に落ちていたり，それより下の生徒でも年間読書量100冊の生徒が京大に合格していたり，読書の大切さを非常に痛感させられるということがあったのです。しかし，前のレポートには一つの不備がありました。受ける大学がばらばらで，一概にその合否を年間読書量と結びつけられないという点です。極端な話，読書をする生徒が高望みをし，しない生徒が確実にうかりそうなところばかりを受験したならば，前者よりも後者の合格率が高いという結果も出て来かねないわけです。同じ土俵の上で，比較は行われねばなりません。それで初めて客観的に正確な分析ができたと言えることになるはずです。今回の資料はそうした反省を踏まえた続編です。今回は年間読書量とセンターの成績の相関関係を調べてみました。

Ｂ：十三年前に書いた文章なんですが，追い詰められた将来ある若い女性が飛び降りて亡くなるまで見直されない日本の労働文化に，私は病的なものを感じます。

Ａ：日本人というのは仕事好きだと思います。けれども当然その仕事には結果の検証も含まれるべきですよね。

Ｂ：エヴィデンスを提示しながら話を進めていきたいと思います。資料Ａをご覧ください。すべての教科科目において，本を読まない層よりも本を読む層の方が高い点数をとっている。３年間分のデータをもとにした分析結果です。

資料Ａ　年間読書量とセンター成績

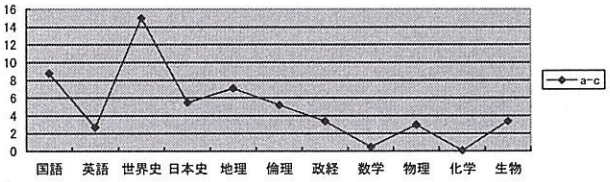
ａは年間読書量30冊以上，ｂは10冊以上29冊以下，ｃは９冊以下。

なお英数国の数値は100点満点に換算したもの。

	国語	英語
a	80.9	85.4
b	78.1	83.2
c	72.1	82.7
a − c	8.8	2.7

	世界史	日本史	地理	倫理	政経
a	90.9	80.0	80.5	85.2	78.5
b	84.4	78.1	77.6	81.4	80.4
c	75.9	74.5	73.4	80.0	75.1
a － c	15.0	5.5	7.1	5.2	3.4

	数学	物理	化学	生物
a	81.4	85.4	83.8	81.2
b	78.6	80.2	84.5	76.1
c	80.9	82.4	83.7	77.8
a － c	0.5	3.0	0.1	3.4

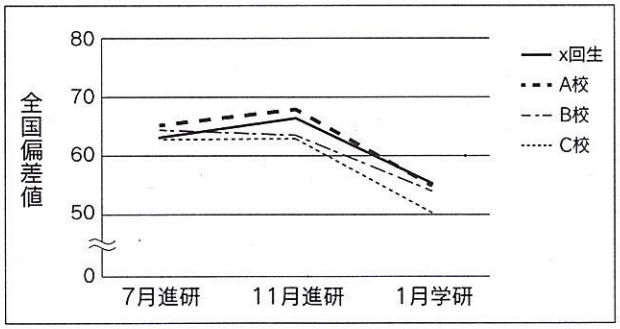


A；文系教科だけでなく，理系教科もというのが意外ですね。

B；さらに続けましょう。結果がついてきています。資料Bをご覧ください。

資料B

	7月進研	11月進研	1月学研
x回生	63.1	66.4	55.3
A校	65.2	67.9	54.9
B校	64.4	63.5	54.0
C校	62.8	62.9	50.3



私が学年主任をした学年ですけれども，最初の外部模試で同じ県内の高校と差が0.3ポイントしかなかった。こういう数字というのは外に出ていくんです。外部の人間でもわかっちゃうんです。実際，どこかの部活の顧問会議に出た先生が他の学校の先生に言われたようです，この学年，国語弱いんだねと。しかし，見てください。半年後の外部模試でその差は5.1ポイント，17倍に広がっています。県外の学校とも比べてみましょう。11月の模試でB校を抜き，1月の模試でC校を抜いています。全体的に右肩下がりに見えますが，これは母集団の数によるものです。それだけではありません。もう一つの資料Cをご覧ください。

資料C

	文系	理系	D校文系	D校理系
受験者	27	35	32	102
平均点	93.7	99.1	99.1	89.3

高2東大レベル模試の結果です。上位40名の精鋭が受けたというわけではありません。112名，ほぼ9割の生徒が受験しています。全国偏差値が文系理系別で載っています。D校と比較してみたいと思います。文系では負けてるけど，理系では勝ってる。理系が全体の3分の2なんで，均すとひょっとして勝ってるかも。電卓たたいてみました。勝ってるんですね。ほんのわずかなんですけれどね。信じられなくて，5回電卓たたきました。だって相手の学校って東大合格者数30年間全国一の学校ですよ。こんな地方の学校が太刀打ちできるはずないじゃないですか。それも1年の時，県内で国語が弱いと噂になった学年ですよ。

A；ではどのような戦略で臨んだのですか。

B；戦略って重要ですよね。それは……

A；何ですか。

B；その前に影山メソッドで有名な影山英男先生の文章を引用しておきましょう。「頑張り主義で学力は身につかない」というタイトルの文章です。

当時，兵庫県の山あいの小学校に勤務していたその先輩は，子供たちのノートを大きなかごに入れて家に持ち帰る姿が印象的な，たいへん熱心ですばら

しい先生でした。ところが無理がたたったのか，自宅で子どもたちのノートに赤ペンを入れている最中に脳出血を起こし，四十七歳の若さで帰らぬ人になりました。葬儀で泣き叫ぶ教え子の姿を見て，子どもたちを泣かせるような教育現場の実体に激しい怒りを感じました。

教育界には昔から，指導の成果より，そこにいたるまでに時間を際限なく注ぐ教師の努力こそ評価すべきだ，という考え方がはびこっています。そのため合理的にやれる仕事でも，残業や自宅に持ち帰ってするといったことが常態化している。亡くなった先生も教育界のあしき思想の犠牲者だと思います。

努力の価値を否定しませんが，倒れるまでやってはいけません。むしろ，教師は鼻歌を歌いながら教えていても，子どもの学力はしっかりついているというのが一番なのです。ゆとりがなければ，学ぶことの楽しさを教えることはできません。

教育の目的は幸福な人生を送るための力を子どもに与えることにあるのです。過重労働のため貧弱な日常生活しか送れていない教師に，そうした力を与えられるでしょうか。

A；何で日本人は長時間労働が好きなんでしょうね。

B；いくつか川柳を引用しておきたいと思います。「残業の理由は家に居場所がない」，「口ほどに手を動かせば早帰り」，「働き方改革したら暇だらけ」だらだらとだべったり，ネットサーフィンなんかやらずに，ちゃちゃっと仕事を片付けて帰るって言ったら，よその学校の先生ですけど言われましたよ，そんなことしたら風呂の掃除してよとか奥さんに言われませんか。ああ，そうなんだ，要するにこの人家に帰りたくないんだなと思いました。学校は教師と生徒という関係があるから，だいたい自分の言うこと聞いてもらえる。けど，家庭じゃそれ通用しないんですね。戦力にならない父親はお荷物扱い。加えてあれこれ言われる。その点，学校という場だったらずっと上から目線でいられますからね。

A；「帰宅恐怖症」という言葉もあるようですね。

B；早く帰れと職場で言われるようになった。けれども帰りたくない。それで一人で居酒屋とか喫茶店でゲームして時間を潰す「フラリーマン」という言葉も生まれているようですね。「ノー残業趣味なし金なし居場所なし」という川柳もあるようです。「女性の社会進出」とかいう語もよく最近耳にしますが，何で女ばかりが家の中のことも外のことも押し付けられなきゃならないんですか。これは「男性の家庭進出」という語とセットで語られるべきだと思います。そうして初めて「男女共同参画社会」って言えるんだと思います。

A；家では料理もされるとか。

B；共働きですから，料理なんか完全に当番制です。男ももう少し家の中のことをすべきだと思います。逆の言い方をするならば，家に居場所のないおじさんたちによって戦線が拡大されていくっていうのもあると思います。それも結果の検証を伴わないやみくもな戦線の拡大。ある意味，これは日本型組織の宿痾だとも考えています。あの戦争だってそうでしょ。サイパンを奪われたら本土空襲が本格化する，米軍はサイパンを奪いにくる，わかっていたわけですから，選択と集中を行うべきだったんですよ。戦線を縮小させてサイパンに兵力を集中させる。それで駄目だったら，もうすぐに和平に動く。そうしていたならば，沖縄の悲劇も，広島長崎の悲劇もなかったわけです。かたくななまでの現実の否認。何の裏付けもない精神主義。それで後手にまわってしまう。別の言い方で言うと先が読めない。少子高齢化の問題もそうです。人口動態というのは未来を占うかなり確かな指標になる。この先厳しいことになるのはわかっていたわけですから，平成10年代後半にもう少し手を打つべきだった。ここが第2のサイパンだったと私は思ってます。

A；平成10年代後半というのは？

B；団塊ジュニアが出産，子育てにちょうど適していた年齢だった頃ですね。
A；けれども第３次ベビーブームは起こらなかった。
B；これも戦略ミスです。ちょうどその頃，組織のトップにいたのは，仕事以外の世界を知らない昭和のおじさんたちでしょ。女は専業主婦，男は会社で長時間労働，そういう価値観が体にしみついてしまった石頭ばかりでしょ。ようやくそういった世代の人が退場したわけですが，団塊ジュニアが40を超えた今頃になって，子育て支援だとか働き方改革とか言っても，手遅れだと思います。１の段階だったら１のエネルギーでリカバーできます。２だったら４，３だったら９，ステージ４までいくとリカバーするのに16のエネルギーが必要になります。早期発見，早期解決，これが基本です。
A；どういう処方箋があるのでしょう。
B；政治家でも政治学者でもないので，人類がいまだ経験したことのないこの歪な社会に対しては，すいませんが，手遅れになる前にもう少し手を打っておくべきだったんじゃないですか，ぐらいしか言えません。けれども国語教師として声を大にして言いたいことはあります。
A；それは何ですか。
B；読む力を身につけろ，ということです。空気を読むより先を読め。神様じゃないんですからすべてを読み切ることはできません。けれども未来を占う上でかなり確かな足がかりとすることのできるものが二つあります。数字と歴史です。ここまでの中でも人口動態やサイパン陥落の話をしていると思います。もう少し広げて言うならずばり，教養です。向こうではリベラルアーツと言います。リベラルは自由，アーツは技術。教養とは人を自由にする技術です。それは人に翼を与えてくれます。そして鳥の目で〈今ここ〉を俯瞰し，大きな文脈の中に位置づける能力を与えてくれます。こうきたら次はだいたいこうくるよなと先を読む文脈力と言ってもいい。教養のない人間にはそれができない。大局観がない。だから後手にまわってしまうんです。
A；じゃあそのためには何が必要か。
B；旅と本です。俯瞰する力と言いましたが，この二つは確実に人の視野を広げてくれる。部活動時間の適正化とか最近になって言われるようになりましたが，今頃になってようやくかよというのが偽らざる本音です。旅をするとわかります。今，この原稿はスペインのホテルで書いていますが，ヨーロッパは自由だなと感じます。ソルボンヌ大学の構内が窓から見えるカルチュラタンのホテルに五泊したことがあるんですが，五日間，人っ子一人見ませんでした。そのことをフランス留学経験者に言うと，「そんなの当たり前じゃない。バカンスのど真ん中に何で学校出てこなきゃならないの」と笑われました。バカンスなんて４週間５週間が当たり前。これがグローバルスタンダードなんです。ちなみにフランスの出生率は２です。外の世界を知らない非グローバルな人間に限って，狭い自分たちの世界の奇妙な習慣を「絶対的常識」と思い込んでいたりして，辟易させられることがありますね。「かわいそうな人だと思えばいいんだって。ビョーキ，ビョーキ。無理に合わせる必要ないからね」と知り合いのスペイン留学経験者が語っていて，さすがトリリンガルな（日英西）グローバル人材は言うことが違うなぁと勉強させられたことがあります。ベルリンの壁を人々は東から西に越えたのか，西から東に越えたのか，歴史的基礎知識があれば，才能のある人間がどう動くか，占えるはずです。自由な方へと流れるんです。水が高いところから低いところに流れるのと同じ。植物の向日性と同じ。己の才能を評価してくれるより自由で広がりのある方向へと，人は己の才能を伸ばしていくものです。
A；もう一つは本と言われましたが。
B；本は旅よりある意味もっといい。それは金がかからないということ。その場にいながら一流，いや

超一流の人間の考えに触れられること。寝っ転がってでもできる。ページの向こうから「この俺様の著作を寝っ転がって読むとは何事か，許せん」とフロイトやニーチェが怒鳴り込んでくることは絶対にない。

A；楽ですよね。図書館で借りたらゼロ円で済むというのもいいですよね。

B；この原稿のタイトルは「楽して国語の成績をあげる方法」。そろそろ具体的な方策に入っていった方がよさそうですね。

A；お願いします。

B；まず第一は読書の奨励です。１年の６月から始めました。結果が出てくるまで最低でも半年かかるだろうと思っていたのに，秋の模試でもう結果が出始めたんで，こっちもびっくりしました。「朝読書なんて強制やろ」という人もいたりするようですが，そんなこと言うんだったら，定期試験も実力試験も小テストもすべて強制ということになってしまいます。知的職業に就くのであれば読書は必須というようなことを斎藤孝先生も言ってますね。

さらに言うと，「外部模試でいい点数をとらせるんだったら，塾や予備校と同じ」とかいう人がいたりするのかもしれませんが，こういう数字というのは外に出てくんです。外部の人に，わかっちゃうんですね。「ちまちまとした数字にこだわっていて，どうする。将来的な生徒の成長を視野に入れた中長期的な本当の教育を行ってるんだ」と，これまたいう人がいるのかもしれませんが……。

A；その場所では通用しますよね，あくまでもその場所では。でも外部の人はそういうふうに見てくれない。結果が出せなかったら，ああ，ここんところ，弱くなってるなって見ますよね。シビアです。

B；さらに言うと，先述の言い方は一種の逃げ，自己欺瞞のように思えてなりません。卒業して何年もたって，元教え子が有名人になって，あいつは俺が教えたんだと得意になりたがる性向が教員にはあるようですが，何勘違いしてるんですか，そんなの本人の努力のたまものでしょ。私も小説で賞をとって新聞にも取り上げられましたが，昔の先生が出てきてこいつは俺の教え子なんだとか言われても，こっちは「はぁ何……」とならざるをえない。だって，小説の書き方，コラムの書き方，教えてもらったわけじゃないですから。すべて独学です。でも全く感謝してないというわけじゃないですよ。先生の授業，面白かったです，先生の指導のおかげで共通一次，センター試験，これだけの点数，とることができました，せいぜいでそこまでだっていうことを言いたいんです。

A；それもそうですよね。

B；朝読書として並行してやったことがあります。本の紹介です。面談等でどういうジャンルに興味を持っているか聞きだし，それに合わせた本を個別に紹介しました。学部別推薦図書というリストも配りました（資料参照）。ちなみに現代文を持ちあがりましたが，高校３年間で出した長期休暇の宿題は２年の夏に出したブックレポートの宿題ぐらいです。学部別推薦図書の中から２冊選ぶこと，という条件をつけました。問題集をこのページからこのページまでやってこいという宿題は現代文に関しては一切出しませんでした。

A；そりゃ楽でいいですよね。

B；生徒も楽。こっちも楽。夏休みはごろごろしながら自分の読みたい本を読む。自分自身がそういう高校生でしたし。ちなみに高校３年の期末試験で私，23点というクラス最下位の点数をとったことがあります。これ，漢文です。それで半年後の共通一次，国語183点とりました。自分でもびっくりしました。２割から９割です。何でこんなに点数がとれてしまったんだろう。考えてみるに，読書のたまものとしか考えられない。ということで研究を始めたというのがあります。

学部別推薦図書

人文科学系	哲学思想	自分を知るための哲学入門	竹田青嗣
		寝ながら学べる構造主義	内田樹
		夜と霧	V.E.フランクル
	心理学	精神分析入門	S.フロイト
		フロイト	R.アッピグナッセイ
		ものぐさ精神分析	岸田秀
	絵画	怖い絵	中野京子
		北斎殺人事件	高橋克彦
	演劇	名セリフ	鴻上尚史
	映画	映画の構造分析	内田樹
	比較文化論	風土	和辻哲郎
		どの宗教が役にたつか	ひろさちや
	近代文学	短編小説の愉しみ	阿刀田高
	古文	輝く日の宮	丸谷才一
		「源氏物語」の時代	山本淳子
	漢文	項羽と劉邦	司馬遼太郎
	英語	And then there were none	A.Christie
		心に届く英語	M.ピーターセン
	外国語	日本語と外国語	鈴木孝夫
		不実な美女か貞淑な醜女か	米原万里
	スポーツ	負けに不思議の負けなし	野村克也
社会科学系	世界史	ローマ人の物語 Ⅱ Ⅳ Ⅴ	塩野七生
		文明が衰亡する時	高坂正堯
		大国の興亡	P.ケネディ
	日本史	失敗の本質	戸部良一ら
		それでも日本は「戦争」を選んだ	加藤陽子
		騎馬民族は来なかった	佐原真
	法律	中坊公平・私の事件簿	中坊公平
	国際政治	ジョークで読む国際政治	名越健郎
		知らないと恥をかく世界の大問題	池上彰
	経済学	出社が楽しい経済学	吉本佳生
	社会学	タテ社会の人間関係	中根千恵
		14歳からの社会学	宮台真司
	教育	街場の教育論	内田樹
		子供に伝えたい〈三つの力〉	斎藤孝
自然科学系	科学	奇妙な論理	M.ガードナー
		人は何故エセ科学に騙されるのか	C.セーガン
	数学	フェルマーの最終定理	S.シン
		放浪の天才数学者エルデシュ	P.ホフマン
		心は孤独な数学者	藤原正彦
	宇宙	コスモス	C.セーガン
		ビッグバン宇宙論	S.シン
		宇宙からの帰還	立花隆
	生物	ソロモンの指輪	K.ローレンツ
		そんなバカな	竹内久美子
		生物と無生物のあいだ	福岡伸一
	脳	妻を帽子と間違えた男	O.サックス
		脳の中の幽霊	V.S.ラマチャンドラン
	医学	臨床の知とは何か	中村雄二郎
		死体は語る	上野正彦

さて，読書指導の他にもう一つ徹底してやったことがあります。

A；何ですか。

B；問題演習の前倒しです。一年の一学期でセンターの過去問取り上げます。１年の一学期で東大の第４問とりあげます。２年の１学期で東大の第一問とりあげます。教科書は最低限しかやりません。だって「舞姫」だとか「こころ」だとかまず出題されないでしょ。ただアトランダムに大学入試問題をやっているわけではありません。配列ということは考えています。基礎的な文章を教科書でやって，その発展教材として大学入試問題演習を行うという形にしています。

A；具体的に言うと？

B；２年の定番教材として「ミロのビーナス」というのがありますね。これを出発点としてその後，芸術論を展開させます。「サモトラケのニケ」をとりあげた文章がセンター追試にあるので，それをやります。「水の東西」から比較文化論を展開，「ものとことば」から言語論を展開……そうやって一つ一つのジャンルを潰していきます。するとどういうことが起こるか。授業でこの内容やったよねという内容の問題に出くわすことになるわけです。その一つ前に担任した学年ではそういうことが起こりました。授業で建築論・空間論をやったのですが，その時とりあげた広島大学の入試問題と重なる趣旨の問題がセンターで出題された。

〈奥〉というキーワードで日本的な空間の特性を説明しようとした文章です。そして前者の文章の一節が後者でしっかり引用されているんです。「この内容覚えてる」と生徒も言っていました。ですから，この年のセンター評論の平均は43点。その問四に至っては，受験者116人中，正答116人。誤答率０％ということが実際に起こりました。

A；だいたいわかりましたが，古文漢文はどうなのでしょう。

B；私自身，真面目に勉強しない高校生でしたからね。特に古典文法や漢文の句法を地道に覚えるという勉強は本当に嫌いでしたね。だって，つまらない。そういう生徒だから定期試験はとれない。真面目にこつこつ勉強してくる女子生徒には全くかないませんでしたね。けれど実力試験になると，とれる。定期試験クラス最下位，外部模試学年トップということすらありました。

A；どうしてなんでしょう。

B；初見の文章だと，本当に読解力が必要になる。ふだんから本を読んでいるから，ここがこうきたら，次は普通こうくるよなというのがだいたいわかる。外部模試学年トップと言いましたが，その時の漢文の問題，覚えてます。織田信長とその養育係平手正秀の話。「微平手」とあるんですが，「微りせば」がわからなくても，「もし平手正秀の諫死がなければ，今の自分はなかったであろう」と信長が述懐しているというのは，二人の話を知ってたらだいたいわかる。これは極端な例ですけれども，読書によって培われる文脈力というのはやはり大きい。けど，これは普段から本を読んでいれば，の話。スマホばかりいじって本を読まないような高校生には嫌でも地道な勉強をしてもらうしかない。

A；本を読んでもらうのが一番なんですけどね。

B；読書する時間がとれないんでしょうね。最近の高校生はかわいそうです。私の頃なんか夏休み40日間ありましたもん。夏休みはひたすら本とプールでした。

A；夏季補習なんてゼロでしたよね。

B；では，基礎基本の定着という話を少ししたいと思います。そもそもはどういうところから始まったかと言うと，数年前本校に赴任した先生がいるんですけど，その先生がびっくりしてたんですね。まず３年の古文を担当して，最初に１，２年でやった基礎的事項がどれだけ定着しているか確認しようとして，いろいろそういうのを試験で出題してみたところ，驚くほどこれができてない。「烏などもこそ見つくれ」，これがちゃんと訳できたのが学年のわずか８人。「源氏物語」の若紫，２年でやってるんですよ。さらに言うと，試験前にプリントを配り，これ試験範囲に入れるよと言ってあり，その例文が入っているにも拘わらず，ですよ。アクティブラーニングとかいうのも確かに大切かもしれませんが，それはまず基礎基本という土台があってのことでしょう。インプットがしっかりできてないのに，アウトプットをさせようとしてもたかが知れてる。アウトプットがしっかりできる人はちゃんとその前にインプットをやってるんですよ。私なんかにしても，月刊誌でコラムの連載を始めてもう２年目になりますけど，ネタに困ったことなんて全くない。何故か。若い頃の読書と旅が完全に自分の肥やしになってる。

A；基礎基本の定着について具体的にお聞きしたいんですが。

B；まずありがちなのは小テストの繰り返し。けどできる人間にしてみれば，つまんないんですよね。だからタイムトライアル的な要素を入れたペアワークを導入してみました。資料をご覧ください。Dのようなものを渡します。ここから問題出しますよと言います。授業の最初に数分間を使います。まず全生徒を立たせる。Eのようなものをペアの片方に渡します。

資料D

次の傍線部を文法的に説明しなさい。

1　申しはべりしかば　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
2　歌詠みにとられて　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
3　いかに心もとなくおぼすらん　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
4　局の前を過ぎられけるを　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
5　それを張らせて　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
6　これ隆家が言にしてむ　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
7　聞きしにも過ぎて　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
8　ゆかしかりしかど　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
9　双なき武者なり。　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
10　人の心劣れりとは思ひはべらず。　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
11　心弱くことうけしつ。　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
12　否と言ひてやみぬ。　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
13　人には頼まるるぞかし。　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
14　ことわられはべりしこそ　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
15　かくやわらぎたるところありて　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
16　はふれにたれど　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
17　みづからはいみじと思ふらめど　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
18　清少納言が書けるも　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
19　あらまほしきかたもありなむ　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
20　荒れたる庭の露しげきに　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
21　世の中にたえて桜のなかりせば　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
22　しやせましし、せずやあらましと思ふこと　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
23　いかなるにかあらむ。　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
24　亡じにしし者どもなり。　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
25　承るこそ、心もことばも及ばれね。　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
26　男もすなる日記というものを　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
27　女もしてみむとてするなり。　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
28　知る知らぬ、送りす。　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
29　ののしるうちに夜更けぬ。　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
30　たたはしきやうにて　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
31　守からにやあらむ　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
32　ものによりてほむるにしもあらず　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
33　船なる人の詠めるに　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
34　忘れ貝拾ひしもせじ　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
35　親幼くなりぬべし　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
36　玉ならずもありけむを　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
37　千歳や過ぎにけむ　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
38　疾く破りてむ　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形
39　露と答くて消えなましものを　（　　）の助動詞「　　」の（　　）形

資料E

1	清少納言が書けるも	存続の助動詞「り」の連体形
2	承るこそ，心もことばも及ばれね。	打消の助動詞「ず」の已然形
3	世の中にたえて桜のなかりせば	過去の助動詞「き」の未然形
4	守からにやあらむ	断定の助動詞「なり」の連用形
5	聞きしにも過ぎて	過去の助動詞「き」の連体形
6	疾く破りてむ	強意(完了)の助動詞「つ」の未然形

教員のReady goでスタート。教員はストップウォッチを押します。生徒が相方に問題を出す。できたら○をつける。全部できたところから着席させる。後半戦は立場が逆転という形になります。１年の６月から始めました。最初は助動詞の活用（上が何形になるか），次は動詞の活用（ナ行変格活用とか），２学期の前半からは助動詞の意味（完了とか打消推量とか），後半になったら何々の助動詞何々の何々形といった形（Q「守からにやあらむ」の「に」→A「断定の助動詞なりの連用形」といったパターン），重要古語の意味は３学期からという形にしました。重要古語のペアワークは２年になっても継続させました。新しい重要古語がある程度たまってくると，またそういったプリントを渡し，それらも含めた形でこうしたペアワークを徹底してやりました（週一回）。

簡単にその結果を検証してみましょう。以下のデータをご覧ください。比較するためにほぼ同時期と言える３年１学期で「もぞ」「もこそ」の問題を出題してみました。X回生は１学期の中間試験，Y回生は１学期最初の第一回学力考査，Z回生は文系国語の１学期期末考査での正答率です。

X回生	8/125	6.4%
Y回生	14/118	11.8%
Z回生	23/ 29	58.9%

（注 先に出てきたx回生とここのX回生は別の学年。）

B；違いますね。グラフにするまでもない。

A；Z回生は文系クラスだからできて当たり前と反論する人がいるのかもしれませんが，X回生Y回生にも文系生徒はいたんですよ。学年全体で８人というのはあんまりでしょう。

A；効果があったと言わざるをえませんね。

B；ちなみにこの間高文連文芸部の集まりで，物書きの立場から少ししゃべってくれとオファーがあり，少し小説の実作についてお話させていただきました。講演という仕事もいいなと思いました。もとより私も国語教師の端くれ。楽して高校生の国語力が上がればこんないいことはないわけです。オファーがあったら，たぶん講演の仕事，受けると思います。影山先生も述べてますが（最近は日本のマスメディアも），だいたい日本の先生は忙しすぎ。世界一。忙しい忙しい，休みがとれないとぼやいていますが，自分で自分の首絞めてああ苦しいと言っているように見えて仕方がない場面というのがわりとあります。自分の首絞めてる自分の腕をまず自分でどうにかしろよと思います。植木等の歌に「ガキの頃から調子よく，楽して儲けるスタイル♬」とかいうのがありましたけど，それでいいじゃないですか。労働人口減少社会になったんです。ブラックな業種，職場は敬遠されるようになりつつあります。

A；教員養成学部も志願者を減らしているようですね。

B；人が集まって来ない。人が離れていく。そういうところは将来性ないですよ。ジリ貧。労働生産性をあげていかないと駄目。

A；旧態依然とした考え方を改めていかないと。

B；何かいろいろ書いてきましたが，国語教師としてこの学校の研究紀要に文章載せるのもこれが最後になる可能性があります。ですからそういう言葉で今回は締めくくりたいと思います。アリアリアリアリアリーヴェ・デルチ。さよならだ。